



TDBC WG09

ブリヂストンのSDG's に関する取り組み

株式会社ブリヂストン
ソリューション企画開発第1部

2023/02/22

1. 会社概要

社名	株式会社ブリヂストン
本社所在地	東京都中央区京橋3丁目1番1号
設立年月日	1931年（昭和6年）3月1日
創業者	石橋 正二郎（いしばし しょうじろう）
取締役 代表執行役 Global CEO	石橋 秀一



石橋 秀一
（いしばし しゅういち）

取締役 代表執行役
Global CEO



東 正浩
（ひがし まさひろ）

取締役 代表執行役
Joint Global COO



パオロ・フェラーリ

執行役
Joint Global COO

2022年度 コーポレートデータ

2022年12月期

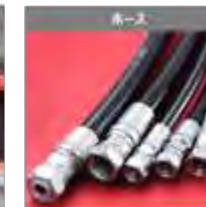
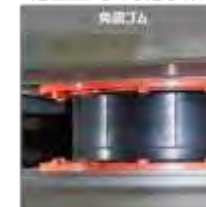
連結売上収益	4兆 1,101億円
資本金	1,263億円
連結従業員数	135,636人

タイヤ事業



その他タイヤ（産業車用、農業機械用、二輪自動車用等）

化工品・多角化事業



2. 使命

使命

Mission

最高の品質で社会に貢献

VISION

2050年

サステナブルなソリューションカンパニーとして
社会価値・顧客価値を
持続的に提供している会社へ

5. SDGsへのブリヂストングループの主な貢献



- ▶ 世界各地での交通安全活動と教育活動 (3.6)
- ▶ 地域医療サービスへの支援、健康診断活動(3.8)



- ▶ 教育機会に恵まれない子供たちへの学校施設の提供、職能訓練プログラムの提供 (4.1、4.4、4.5)



- ▶ 「グローバル人権方針」に沿ったダイバーシティ、エグイティ&インクルージョンに向けた取り組み推進 (5.5)



- ▶ ウォータースチュワードシッププランの推進、生産拠点での取水量削減 (6.4)



- ▶ 再生可能エネルギーの導入拡大 (7.2)
- ▶ タイヤの転がり抵抗の低減 (7.3)
- ▶ 生産工程でのエネルギー効率向上 (7.3)



- ▶ 資源生産性の向上 (8.4)
- ▶ 持続可能な天然ゴムの取り組み推進 (8.4、8.6、8.7、8.8)



- ▶ リサイクル事業の探索、サーキュラーエコノミーの実現に向けた取り組み推進 (9.4)
- ▶ タイヤセントリックソリューション、モビリティソリューションの提供 (9.5)



- ▶ バリアレス緑石・タイヤによるアクセス改善 (11.2)
- ▶ スマートサイホンによる、入居者のニーズやライフスタイルにあわせた間取りの実現 (11.3)



- ▶ リトレッドタイヤによるライフサイクルを通じた資源生産性の向上、廃棄物の削減 (12.2、12.4、12.5)
- ▶ 再生可能資源の拡充・多様化 (12.2)
- ▶ サステナビリティ関連情報の開示 (12.6、12.8)



- ▶ カーボンニュートラル化に向けた取り組みの推進 (13.1、13.2、13.3)
- ▶ 自然災害への防災対策推進、地域貢献 (13.1)



- ▶ サプライチェーンにおける森林破壊ゼロに向けた取り組み推進、森林回復支援 (15.2、15.5)
- ▶ 生物多様性保全に向けた取り組み (15.1、15.5)



- ▶ コンプライアンス上の問題に対する考え方や行動の指針を明確化した「行動規範」に沿った取り組みの推進 (16.5)



- ▶ 社会課題解決に向けたオープンイノベーションの推進 (17.6)

17目標のうち、特に13目標に対し貢献

ブリヂストンはSDG's を元にサステナビリティ（持続可能）な社会価値・顧客価値を創造する事業を展開しております

6. ブリヂストンのサステナビリティビジネスモデル

サステナビリティとビジネスモデルを統合する**ブリヂストン独自のサステナビリティビジネスモデルを進化**



創って売る： プレミアムタイヤ事業 ～環境に貢献するタイヤ～

低燃費タイヤ

低燃費トレッドゴム等の採用により転がり抵抗の低減を追求

夏タイヤ



冬タイヤ
(スタッドレスタイヤ)



革新タイヤ技術

環境性能と運動性能を両立するタイヤ技術を開発



- ・大幅な軽量化
- ・転がり抵抗低減
- ・摩耗ライフの向上



省資源化や環境負荷低減
に貢献

低燃費や省資源に貢献するタイヤとして、ECOPIAやENLITENを展開しています

創って売る： プレミアムタイヤ事業 ～新たな取り組み BCMA～

ブリヂストン コモナリティ・モジュラリティ アーキテクチャー



Bridgestone
Commonality Modularity
Architecture



モジュール1
カーカス (タイヤの骨組み)



モジュール2
ベルト (タイヤの補強帯)



モジュール3
トレッド (タイヤの表面)

商品間で共有

性能カスタマイズ

シンプル & 差別化

顧客ニーズに合わせてカスタマイズした断トツ商品をシンプルなオペレーションで提供することを可能に



開発プロセスの効率化

生産プロセスの効率化／生産量の最大化

“究極のカスタマイズ”による顧客満足向上

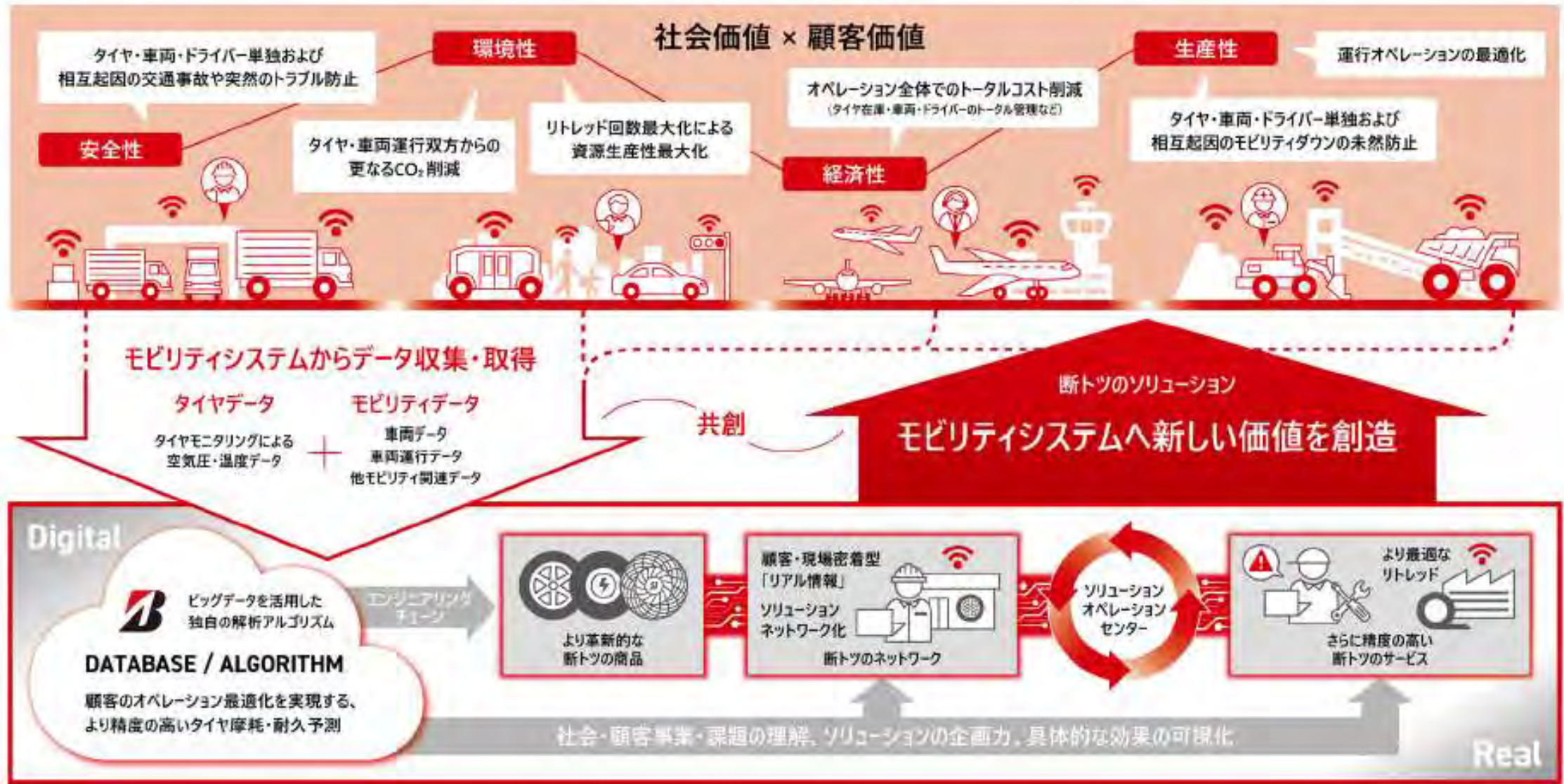
原材料標準化・調達最適化

在庫・物流最適化

販売計画変動へのフレキシブル & アジャイルな対応

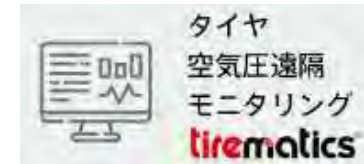
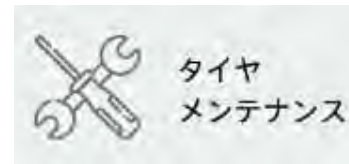
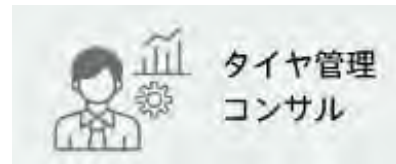
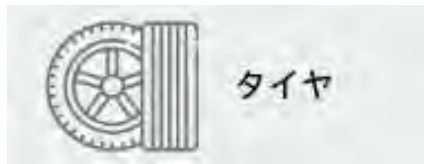
省資源や資源生産性の向上、CO2排出削減をし、サステナビリティへ貢献

使う：ソリューション事業 ～ブリヂストンの目指すソリューション事業の概要～



使う： ソリューション事業 ～タイヤマネジメント～

TPP（トータルパッケージプラン）：タイヤマネジメントのサブスクサービス



タイヤ
マネジメント
の効果

車型／走行条件に
合わせたご提案で
経費を最適化
(ECOPIA、リトレッド等)

タイヤ点検／
アドバイスにより
タイヤ適正使用

高品質な
タイヤメンテナンスで
安全運行に貢献

(オプション)

クラウドを活用した早期異常の検知

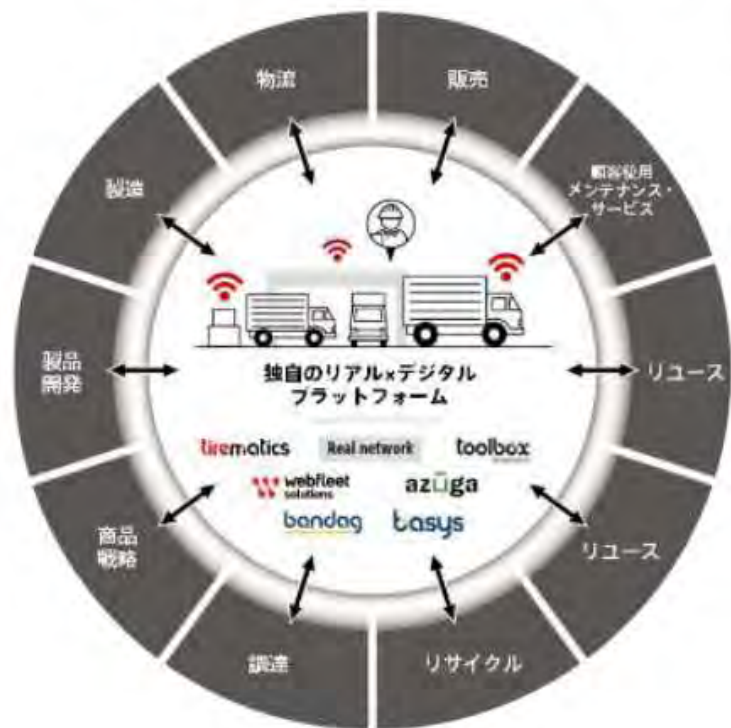
タイヤ起因のトラブルの未然防止
により**安全運行とダウンタイム**
削減に貢献

タイヤ起点の業務効率化と、安心安全な運行を両立するタイヤソリューション（TPP）をご提案しております

使う： ソリューション事業 ～タイヤセントリックソリューション（トラック・バス系）～

リトレッド

- 断トツ商品とリトレッドを中核にソリューション事業との連携を深化
「創って売る」「使う」バリューチェーン全体でプレミアムタイヤの価値を増幅する“循環ビジネスモデル”の確立を推進

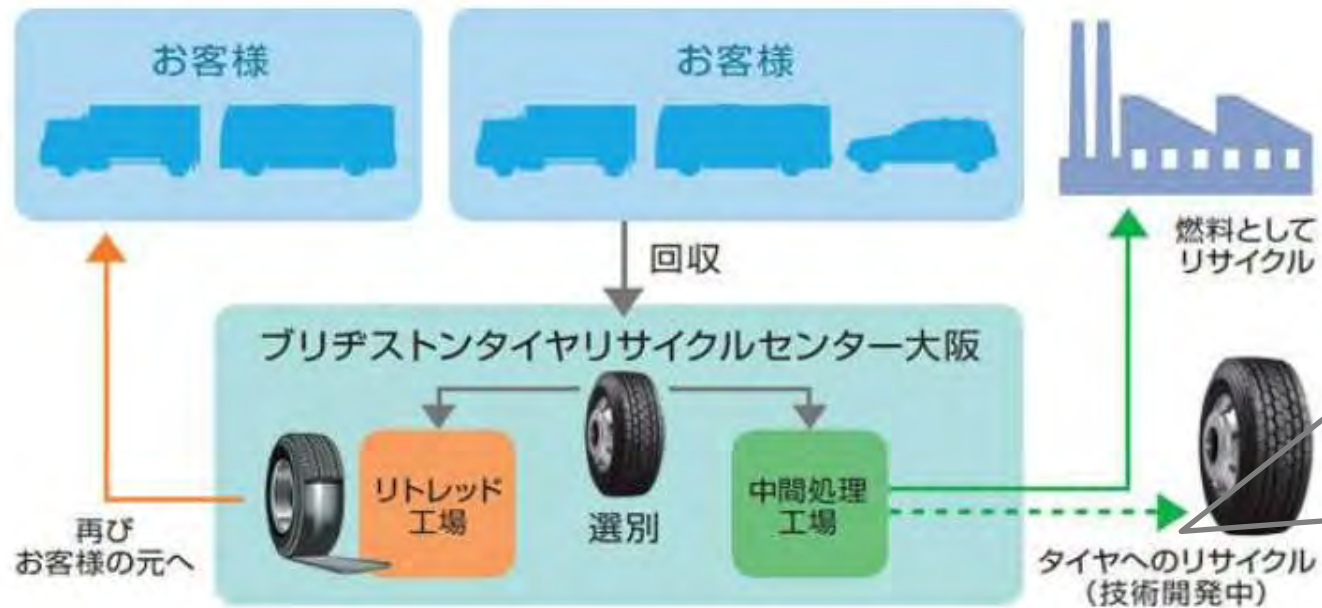


「創って売る」	「使う」										
<p>リトレッドまで見据えた競争力の高い新品</p> <p>高耐久、耐摩耗、低転がり抵抗</p> 	<p>リトレッド × デジタル</p> <p>RFID ライフサイクルを通じたタイヤ個体管理</p>  <p>2019年：欧州より展開開始 2022～24年：欧州よりグローバルへ拡大 2030年：欧米・日本にてほぼ全てのトラック・バス用タイヤに搭載</p>										
<p>ENLITEN搭載商品の拡大計画</p> <table border="1"> <tr> <td>ENLITEN搭載商品投入数（累計）</td> <td>23年8商品、24年約15商品 ⇒30年約90商品</td> </tr> <tr> <td>ENLITEN搭載率</td> <td>23年約3% ⇒ 24年約15% ⇒ 30年約70%</td> </tr> </table>	ENLITEN搭載商品投入数（累計）	23年8商品、24年約15商品 ⇒30年約90商品	ENLITEN搭載率	23年約3% ⇒ 24年約15% ⇒ 30年約70%	<table border="1"> <tr> <td>tirematics</td> <td>タイヤモニタリングシステム</td> </tr> <tr> <td>toolbox</td> <td>お客様とタイヤ情報のデータベースプラットフォーム</td> </tr> <tr> <td>basys</td> <td>リトレッドタイヤ管理システム</td> </tr> </table> <p><small>*RFID（Radio Frequency Identification）：電磁界や電波などの無線通信を用いて、ICタグなどの情報を非接触で読み書きする自動認識技術</small></p>	tirematics	タイヤモニタリングシステム	toolbox	お客様とタイヤ情報のデータベースプラットフォーム	basys	リトレッドタイヤ管理システム
ENLITEN搭載商品投入数（累計）	23年8商品、24年約15商品 ⇒30年約90商品										
ENLITEN搭載率	23年約3% ⇒ 24年約15% ⇒ 30年約70%										
tirematics	タイヤモニタリングシステム										
toolbox	お客様とタイヤ情報のデータベースプラットフォーム										
basys	リトレッドタイヤ管理システム										

バリューチェーン全体でサステナビリティにも貢献、社会価値・顧客価値の創造を両立

戻す：リサイクル事業 ～使用済みタイヤの活用と原材料に戻す研究～

タイヤのマテリアルリサイクル



サーキュラエコノミーに関する共創



日本：使用済みタイヤのケミカルリサイクル



LanzaTech

米国：使用済みタイヤを樹脂や糸の原材料に転換

リトレッドタイヤの製造に加え
「再利用が困難なタイヤ」を燃料として活用できるように加工、更には原材料に戻す研究を進めています

最後に

ビジョン：2050年サステナブルなソリューションカンパニーとして、社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ

サステナビリティとビジネスモデルを統合するブリヂストン独自のサステナビリティビジネスモデルを進化



創って売る「プレミアム事業」、使う「ソリューション事業」、戻す「リサイクル事業」を軸にサステナビリティへ貢献して参ります

ご清聴ありがとうございました。

